育所は指導していく。②どんな石けんが環境に優しいか、又指針の必要性も含め検討したい。

子ども議会の発言を受けて子どもがのびのび遊べる環境をつくる

問 ①子どもの意見表明権とは何か②「公園に時計がほしい」との提案の実現について③校庭で思いっきり遊べるように子どもたち自身が話し合う機会をつくってはどうか④放課後の緑野小図書館に人員配置や司書の時間延長を要望するが。

答 ①自分の意見をいつでも妨げられることなく自由にできること②現況調査し必要があれば予算要望③異年齢交流の中で柔軟かつ自主的に遊びのルールを決めていく過程を大人が見守りサポートしていく④協力員増員は状況を踏まえ考えたい。

給食の安全性と食育にどう取り組むのか

問 ①小学校給食のパンを国内自給率や安全性の点から国内産小麦に原料を切りかえてはどうか。②中学校給食では家庭からの弁当とボックスランチの選択ができるように。③委託業者選定に当たり石けん使用を条件にしたのか。

答 ①国内産小麦のパンは、やや硬く食感に難があるようだ。輸入小麦の安全性は確認されていると判断する。②原則として全員給食としたい。③食器洗浄機用洗剤は、石けんに準じて安全性の高いものを使用するよう委託業者と調整している。

小川克美

多摩川の環境美化について

問 ①今年度、多摩川を取り巻く状況を市はどの程度把握をしているか②それらの諸問題について今までの具体的な対策は。また他の流域市町村で先進例はあるか③狛江市は多摩川とよりよい共存関係を確立すべきと思うが、市長の考えは。

答 ①ゴミ回収は、京浜河川事務所25トン、狛江市35トン。苦情件数は京浜河川事務所で月70件②福生市、昭島市でバーベキュー施設あり③環境を汚し、市民生活を脅かす利用者が共存関係を妨げている。規制をさらに強化するか検討する。

水道道路の安全確保について

問 ①警視庁からの意見書に対する回答について、カラー舗装、砂礫舗装、ハンプ設置とは何か。また他に安全確保において有効な対策は考えられるか。②都市計画道路として早期整備に向け、現在までの実施時期を含めた進捗状況は。

答 ①いずれも滑りどめ機能を持った樹脂系の舗装で、カーブ、速度の注意を促すもの。新たな対策があれば要望していく。②具体的な動きはないが、情報収集を綿密に行い、水道道路整備の要望活動を強めていく。

石井功

危機管理～市民の視点からの震災対策

問 1予防対策 ①発生が予想される大地震への心構えとその対策②最も重要と思われる住宅の耐震化とその促進について③防災意識の高揚の施策について。2緊急・復旧・復興計画 ④緊急仮設住宅の確保について⑤罹災証明の申請関係。

答 ①大地震が来る認識を市民・行政が共有すること②耐震化は震災対策の重要課題の一つ、優先順位を決め、推進を図っていきたい③市民みずからが行動を起こしていただけるよう広報に努める④手配は都にお願いする⑤現地調査を行い発行。

須田繁美

道路行政について都市計画道路の現状と展望を問う

問 ①電研前の3・4・16号線の事業が凍結解除になった。今後の工事予定、又、完成した所の未買収地の交渉状況について。②泉龍寺脇の3・4・4号線が中断して久しいが、未買収地と買収整備予定とその財源は。

答 ①小田急線高架下の変則七差路について、来年度から現地測量に入りたい。未買収地については、今後も協議していきたい。②今年度協議が成立し、事務手続きを進めている。財源は用地費・補償費が東京都の費用負担となる。

世田谷区の喜多見地区計画との調整、世田道冠水について問う

問 ①3・4・16号線の実施に向け、その周辺の用途、容積率等を世田谷区との調整変更は。②局地的集中豪雨による世田谷通り付近の浸水被害を軽減するための下水道整備計画の予定は。

答 ①3・4・16号線整備に合わせ用途地域等を見直す場合は、世田谷区の動向を踏まえ、検討したい。②浸水被害の最小化を図るため、伏せ越し管渠の改修を19年度、20年度に実施する計画である。

栗山欽行

～業務継続は可能か～公共施設の耐震補強について

問 ①耐震改修促進計画には一般住宅等の調査は不可欠。現状・手法は②国土交通省が公共施設等の耐震化目標を具体的に示している。市施設現状は③庁舎等の耐震補強に際しては業務継続の視点が必要である。免震を含め検討する考えは。

答 ①具体的な取り組みはまだ行っていないが、各種資料で把握できると考える②いずれも目標値に届いていない、耐震改修促進計画策定の中で検討が必要③総務文教常任委員会で専門家から説明していただいたが、継続して検討中。

～あと5秒～緊急地震速報の活用及び環境整備について

問 ①緊急地震速報の運用が開始される。市が急ぎ講じるべき対応は②児童・生徒等に対する周知方法は③地震速報の発信には全国瞬時警報システム活用も考えられる。環境は整っているか④受信表示端末の早期設置が必要である。対応は。

答 ①至急検討が必要、当面は市民への周知を実施したい。②保護者、児童及び生徒への周知は学校に依頼している。今後は、その活用方法について学校に助言していきたい。③機器の導入などが必要、今後検討④対応を検討したい。

公共施設の管理運営効率化と公会計制度について

問 ①公有財産台帳の整備が早急に必要。整備時期は②連結財務諸表4表の作成及び公表時期は③行政コストの低減・公共建物等の管理にはアセットマネジメントの視点が欠かせない。公共施設再編方針も含め検討していく考えはないか。

答 ①台帳に精緻さを求めるためには段階的に整備したい。②なるべく早い時期に一定の整備をしたい。③ライフサイクルコストを把握し、長期的な視点で計画的に修繕を行うことが必要。基金の設置も視野に入れ検討したい。

谷田部和夫

清掃行政の現状と将来生じる財政負担に対する市の考え方を伺う

問 ①有料化の前と後の排出量の状況、今後の見通し、不法投棄への対応、美化条例の制定について。②清掃行政によって生じた増収分は一般財源としてではなく全額清掃施設基金として積み立てて将来に備えるべきと考えるがいかがか。

答 ①18年度でごみ量15％減、資源量12・6％増。減量目標堅持に努力する。素早い処理、看板設置、指導等で対応。研究していく。②当面は一般財源に比重を置き、財政基盤の確立に合わせて基金積み立てを強めたい。

白井明

行財政改革について

問 ①町づくりや企画・立案等の部門は3人で、保育園勤務職員は全体467人の22％となる103人。バランスを欠いた組織と思うがどうか。②学童保育所を直営と決定した理由は。③市職員の勤務成績に基づく昇給制度への検討状況は。

答 ①今後企画・立案は個々の職員、各部門の力を引き出し、組織全体で対応していきたい。②もともと民間委託という方針は持っていない。③勤務評価は20年度に全職員実施予定、勤務評価に基づく昇給制度は21あるいは22年度導入見込み。

まちづくりについて

問 ①公共施設再編方針の策定を委託したが、どのような町づくりを進めるためのものか。②道路整備計画の策定と公表を以前から求めているが。③緑野小学校前と狛江営業所間の新設バス停留所と都道狛江通りの拡幅整備の進捗状況は。

答 ①施設や市民ニーズ等の現況を踏まえ、施設のサービス提供のあり方、施設配置を示すもの。②都市計画道路事業の進捗を見て計画を立てていければと考える。③都へ工事着手時期が見えてきた段階で正式要望したい。平成23年度完成を目指。

田口貴子

これでいいのか狛江市の子育て支援

問 ①一時保育実態は月に約150件（独自調査）。市の現状把握と実施計画は。②授乳やオムツがえ場所を公共施設で提供する「赤ちゃんの駆け込み駅」制度を前定例会で紹介したが市の展開は。③将来を見据え子育て支援拠点を野川地域に。

答 ①6月延7人50時間、7月延3人延21時間。公立保育園は、6ヵ所で12名の予定で職員組合と協議。②私立狛江保育園で平成20年4月から実施。③公共施設再編方針の中で、実現可能性の高い提案をしたい。

これでいいのか狛江市の災害備蓄

問 ①災害対策備蓄品一覧には粉ミルク24缶・哺乳瓶60本とあるが少な過ぎる。アレルギー対応ミルクは皆無。最低限の備蓄は必要だが今後の予定は。②緊急性を鑑み分散備蓄化すべき。

答 ①粉ミルクと哺乳瓶の備蓄は他に優先するものの一つと認識する。②現在、小田急高架下の備蓄倉庫で集中管理しているが、分散備蓄について総合的な検討をしたい。